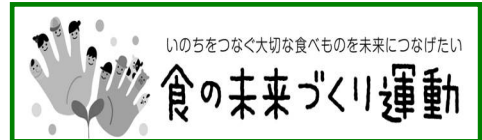


# 東都産直だより NO.1



## 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用が集中して、欠品、受注制限が発生しています。

緊急事態宣言による外出自粛や学校休校に伴い、多くのご注文をいただき、この間できる限りの商品確保と対応を行っておりますが、人員や機材が間に合わず、一部商品において計画欠品をせざるを得ない状況となっております。ご迷惑をお掛け致しますが、しばらくの間、ご理解とご協力をいただきたくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスへの不安は続きますが、東都生協は、組合員のいのちとくらしを守るため、安全安心な生活必需品を届け、人と人がつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現を目指していきます。

### ◆国産原料の重要性

東都生活協同組合 組合員のみなさまへ 日頃、組合員のみなさま方には、JA やさと農協の商品をご利用いただきありがとうございます。今、新型コロナウイルスの影響により、世界中が混乱しています。JA やさとにおいても、外食向けのお米・野菜の注文が激減しております。我が国においてもグローバルゼーションのもとに、海外へ価格の安さを求めて工場が移転した結果、輸入ができない事による品不足が発生しています。もし、食料が同じような現象になったら考えると、たいへんなパニックになりかねない事です。国民の食料は、限りなく『国内で自給する事』。海外へ依存していたかを知らされた事と思います。

産直は、産地と組合員のみなさまとの、相互扶助で成り立っています。産地やさとの生産者は、今後も『安全でおいしい食料』を作り続け組合員のみなさまに供給します。今回のピンチをきっかけに、多くの消費者のみなさまに、国産の大切さを訴えましょう。今後とも、組合員のみなさま方の御支援、御協力、宜しくお願い致します。産地やさとはみなさんと一緒に頑張ります！

JA やさと 専務理事 廣澤 和善 (東都生協産直生産者団体協議会 会長)



### ◆みんなの協力でこの難局を乗り越えましょう



いつも産直産地の農産物ご利用いただきありがとうございます。今回の新型コロナウイルスの影響により、国内の生活必需品の自給率の低さを改めて再確認をした次第です。私達の生活に必要な物が輸入に頼っている現状です。テレビ等の報道によりトイレットペーパーがなくなり、マスクや防護服が医療従事者に回らない危機的な状況が続いた現状を垣間見て昔のオイルショックを思い出しました。

私たちも長年農業に従事しているんな事がありました。オレンジの自由化で国産の柑橘が売れず経営が厳しくなったことを思い出します。ただ、この難局を越える事ができたのは、産直運動です。台風の被害より樹が倒されたり、事務所の屋根が飛んだりで目の前が真っ暗になった時も東都生協や取引先からのお見舞いや温かいお言葉を頂き復活することができました。産直とはただ作った農作物を届けるだけではなく、その風景や物語があつてこそ産直だと感じさせられました。

今回の新型コロナウイルスの影響で産地としてどう対応するかを、生産者一同で話をしました。地元の行事や多人数の集まりへの参加を控え、特に共同で選果をおこなう柑橘では、手洗いマスク着用を義務付けしました。

又、改めて思うのは、私達遠隔地の農産物が東都生協の組合員に届けるには、運送会社や東都生協役職員一同が力を合わせて初めて届けることができることを実感しました。

作る人、運ぶ人、選んでくれる人の様々な力で、この難局を乗り越えていきましょう。4月は桜が咲き、みかん山には5月には花が咲きました。秋にはおいしいみかんを届けますので楽しみ待っていてください。

農事組合法人 大矢野有機農産物供給センター 理事長 内田光男

#### 産直産地から届け応援動画

組合員のいのちとくらしを守る東都生協 新型コロナウイルスの影響で大変な状況だからこそ、組合員の願いを受け止める、安全安心な商品をお届けする産直産地の生産者がいます。産直産地からメッセージが届きました。

～産直野菜は元気に育っています。産直産地からの応援メッセージ、YouTube 東都生協チャンネル、右記の QR コードを読み取ってご覧ください。

房総食料センター  
若手生産者からの  
メッセージ



奈良五條産直組合  
益田さん自慢の産  
直野菜



## ◆八千代牛乳を応援いただき、ありがとうございます



3月からの全国的な休校要請で、全国の学校給食用牛乳が余剰となりました。八千代牛乳は千葉県内100校以上の学校でことも達にも飲まれている牛乳です。

組合員の皆さまには、3月に配信しました「牛乳商品利用のお願い」メールからこれまでの間、前年比130%以上のご利用をいただいております。

息の長いご支援をいただきまして、ありがとうございます。

八千代牛乳は現在、皆さまに支えられて安定して商品をお届けしております。

今後、夏場に向かっては、牛がたくさん水を飲むため、今飲んでいる牛乳より少し水っぽい、薄いと感じることがあるかもしれません。また、八千代牛乳の特徴であるHTST殺菌(75℃15秒)は、市販のUHT殺菌(120℃2~3秒)の牛乳に比べて温度変化に敏感です。届いたらなるべく早く冷蔵庫への保管をお願いいたします。

### 生産者より <応援ありがとうございます>

日頃より、八千代牛乳のご利用ありがとうございます。今回の新型コロナウイルスの影響を受け、私達も感染防止に最大限の努力をしつつ、生産を続けている状況です。学乳が止まっている現状の中、皆様の産地応援により、生協への供給が増えていることで本当に助けられています。アメリカでは消費低迷により生乳の廃棄が始まり、飼料の輸入が止まっているなど厳しい状況が続いています。今回、国産がいかに重要であるか、再確認できたのではないかと思います。

このピンチを皆様と共にチャンスに変えられる様に力を合わせて乗り越えていきましょう。

千葉北部酪農農業協同組合 理事長 高橋憲二



## ◆かぞの豚 モモ肉・肩肉が不足しています

新型コロナウイルス蔓延拡大に伴い、肉食需要が高まったことで「かぞの豚」の利用点数が急増しています。3月以降はモモ肉・肩肉を原料に使用している小間切や切落し、挽肉の利用点数が前年比150~200%と大きく伸びたことで原料在庫が逼迫し、4月後半からは注文点数制限を設けさせていただいた商品もありご迷惑をお掛けいたしました。

今後モモ肉・肩肉を使用している商品については企画頻度の見直しを行わざるを得ない状況が続きますが、他の産直豚の代替企画を行うことで安定供給に努めて参りますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

### 生産者より <元気に育っています>

いつも「かぞの豚」をご利用いただきありがとうございます。今年は冬も暖かく、豚の成育に適した日が続いたため、金芽米由来の「米の精」が配合された飼料をもりもり食べて、「かぞの豚」は元気に育っています。新型コロナウイルスの蔓延に伴い、外出自粛の影響で、お家で過ごす時間が増えているかと思えます。このような時だからこそ、家族との時間を大切に、「かぞの豚」を美味しく料理して食べていただければと思います。今後とも組合員の皆様へ安定的にお届けできるよう、加須畜産社員一同、精一杯生産に励みますので、一緒に新型コロナウイルスを乗り越えましょう！

(有)加須畜産 代表取締役 田口和寿

